

# 公益信託高知市まちづくりファンドニュース まちファン

29号  
2017年10月31日



## ● 目 次 ●

### 公益信託「高知市まちづくりファンド」 2017年度 公開審査会 p. 2

#### 書類審査

#### プレゼンテーション

A 「学生まちづくり」コース p. 3

C 「まちづくり一歩前へ」コース p. 3

公開審査を終えて p. 6

運営委員の紹介 p. 6

### 公益信託「高知市まちづくりファンド」 2016年度 最終発表会 p. 7

#### プレゼンテーション

A 「学生まちづくり」コース p. 7

B 「まちづくりはじめての一歩」コース p. 7

C 「まちづくり一歩前へ」コース p. 8

最終発表会を終えて p. 9

「公益信託高知市まちづくりファンド」とは p. 10



2017年7月23日(日)開催の「公益信託 高知市まちづくりファンド公開審査会」には、応募団体・一般を合わせて約31名が参加しました。

## A: 学生まちづくりコース

**1 審査** 事前の書類審査にて助成団体を選考し、公開審査会の場で発表。

**2 活動紹介** 助成対象となった団体による事業内容の説明。

## C: まちづくり一歩前へコース



### 1 プレゼンテーション

事業内容を模造紙1枚に記載。3分以内でプレゼンテーションを行った後、3分以内で質疑応答



### 2 一次判断

各運営委員が、各応募事業について(a)(b)(c)の3段階いずれかの判断をする。  
※(a)(b)(c)については下表参照



### 3 質疑

一次判断で(b)(c)が多い事業への質疑応答



### 4 最終判断 助成事業・金額の決定

各運営委員が、助成対象として推薦する事業を選び、過半数(5票以上)の推薦を得た事業が助成先に決定

## 2017(平成29)年度 第15回公益信託高知市まちづくりファンド助成事業

### 【A】 学生まちづくりコース (助成先2団体)

No.	グループ名	申請額(万円)	助成額(万円)	助成額合計(万円)
1	高知大学ほたる飛ばし隊!!	5	5	10
2	学生団体「KOCHIのZOU(こうちのぞう)」	5	5	

2017(平成29)年度

助成額合計 **2,144,000 円**

### 【C】 まちづくり一歩前へコース (助成先9団体)

No.	グループ名	一次判断			最終判断			助成額合計(万円)
		(a)活動企画内容を支持し、今回のサポート助成が必要だと考える	(b)活動内容についてもう少し話を聞き、今回のサポート助成が必要か判断したい	(c)社会的に意義がある活動だが、サポートの助成趣旨には馴染みにくいと考える	今回の助成対象として推薦する	申請額(万円)	助成額(万円)	
1	高知ビッグバンド	■■■(2)	■■■■■■■(7)		●●●●●●●●●(9)	30	30	204.4
2	ゆる〜いけれどすごい9-3ご近所会		■■■■■■■(7)	■■■(2)		30	—	
3	はるのあじさいコミュニティクラブ	■■■■■■■■■(9)			●●●●●●●●●(9)	30	30	
4	西畑夏祭り実行委員会	■■■■■■■■■(8)	■(1)		●●●●●●●●●(9)	30	30	
5	下知愛のふるさと農園・下知地区防災会	■(1)	■■■■■■■■■(8)		●●●(3)	30	—	
6	高知地域猫の会	■■■■■■■(7)	■■■(2)		●●●●●●●●●(9)	30	30	
7	特定非営利活動法人 井戸端わもん	■■■■■■■■■(9)			●●●●●●●●●(9)	25	25	
8	特定非営利活動法人 要約筆記 高知・やまもも	■■■■■■■(7)	■■■(2)		●●●●●●●●●(9)	30	30	
9	シアターTACOGURA	■■■■■■■■■(9)			●●●●●●●●●(9)	29.4	29.4	

## A・学生まちづくりコース

### GROUP A1 高知大学ほたる飛ばし隊!!

#### ほたるを通して地域とつながる



「ほたるを通して地域とつながる」をコンセプトとして主に朝倉地区で活動している学生団体です。今回、朝倉地区周辺のほたるマップを作るという計画を立て、ほたるの生態や、ほたるの条例に関することなども載せる予定です。ほたるマップの完成後は、地域の方々や大学生に配布し、ほたるに関する知識や、鑑賞マナーなどについても知っていただけたらと考えています。

### GROUP A2 学生団体「KOUCHIのZOU (こうちのぞう)」

#### 地域活動に参加する学生を増やすぞう



地域を支える次世代をどのように増やしたらいいのか、地域の方や私自身が感じた宿題に対して答えを出したのが、この学生団体「KOUCHIのZOU(こうちのぞう)」です。私たちは、子どもたちへの学習支援と地域のイベントへの参加を行います。子どもたちを中心とした地域コミュニティ作りに取り組みます。

## C・まちづくり一歩前へコース

### GROUP C1 高知ビッグバンド

#### 高齢者による高齢者、地域住民のための豊かな暮らし創り



私たちのテーマは「高齢者による高齢者、地域住民のための豊かな暮らし創り」です。高知県は急速に高齢化が進んでいます。しかし、高齢者は地域の大いにスキルを持った資源です。そして、わがバンドの文化資源としての特性を合わせて、ともに企画をしようと考えました。高齢者や障害者がどのような状況であっても文化活動(私たちの演奏活動)を楽しめるまちづくりを目指し、外に出てきてもらい「何かをしよう」という意識を持てるまちづくりをしたいと思っています。高齢者・障害者の方々にも広く社会参加を呼び掛けて、地域への貢献度を増していきたい。

### GROUP C2 ゆる~いけれどすごい9-3ご近所会

#### 新しいコミュニティの形成プロセスへの挑戦



私たち23世帯の町内会が問題を解決できるコミュニティになることを目的とし、まずは6世帯11人の有志で会を立ち上げ、学習する組織になるために始動しています。取り組みとして、学習を習慣にするコミュニティのモデルになること、学習を生かして行事や交流を計画し、助け合いの強い関係をつくること、町内会全体に認められるような実績をつくっていききたい、この3つです。現在も勉強会や清掃活動などを行っていますが、今後は地震対策を行うのでホワイトボードとそれを収納する物置が必要です。これらは今後の地域づくりにも使うものなので、ぜひご理解をいただきたい。

### GROUP C3 はるのあじさいコミュニティクラブ

産官学民連携によるあじさいの花復活を通じた地域コミュニティ活性化事業



住民と春野町が力を合わせて始めたあじさいのまちづくり。高知市を代表するあじさい街道として広く愛されてきましたが、現状は様々な理由から危機に瀕しています。そこで、産学官民連携の一貫した復活活動として、まず周知のための広報看板を春野高校の学生と設置し、樹勢回復に向けた管理作業を高知市みどり課の指導のもと、地域住民と行います。また、夜のライトアップ・皿鉢に見立てた川船に花を盛り付けて川渡し・SNS等で情報発信・土曜夜市を行います。地域でイベントを行い、同じ目的に向かって活動することで、更に新たな魅力も発見し、自主防災活動にもつながります。きれいな花を咲かせることで、地域の思いをもっともっと育てていきたい。

### GROUP C4 西畑夏祭り実行委員会

西畑花取り踊りの復活・祭りの再生



子どもたちのすこやかな成長を願い、優れた文化や技術を伝え、子どもたちの自主性と創造性を育てる、ということを目指し、西畑デコ芝居に必要な和楽器、立ち回りの基礎を学ぶ伝統文化子ども教室を毎年開催し、今年も小学生12名が学び、夏祭りは、その発表の場になっています。今回は、約60年前まで夏祭りで踊っていた「西畑花取り踊り」の復活を目指します。地元で踊ったことのある方もご高齢で、自分たちがその方たちから踊りや楽器を学び、子どもたちに伝えなければ、二度と復活することはできません。地域の文化を地域で守り育てていく。これが高知のまちづくりにつながると 생각합니다。

### GROUP C5 下知愛のふるさと農園・下知地区防災会

下知地区有志による五台山での市民農園・津波避難施設づくり!



昨年度は巨大地震に備えた農園事業と共に、避難場所としての整備に取り組み、農園地区の土砂崩れの場所と道路の改修も実現できました。今年度は、五台山地区の行事への参加や防災訓練などで住民との交流を図ります。そして、夜間でも安全に避難できるように、外灯がない階段に蓄光塗料を塗り、ソーラー、風力発電装置の整備をします。さらに、雨水タンクの整備や浄水器の準備をして、水に困らない安定した避難所づくりを目指し、簡易トイレの準備も予定しています。また、昭和小学校で行われる「昭和秋の感謝祭」に参加するなど、地区行事への参加や収穫した野菜の提供を通して交流を図り、理解を深めていきます。

### GROUP C6 高知地域猫の会

人と猫が共生できる街づくり～地域猫活動～



地域猫活動とは、猫を起因とする住民トラブルを解決するため、行政、地域、ボランティアの三者協働で取り組む活動です。私たちはサポートをする立場として、猫に関するまちの環境問題やトラブルの解決を目的としています。今年度は、モデル地区を選定して重点的な支援、その後、他の地域に順次展開し、また地域の行事へ参加し、相互協力を図ります。地域猫セミナーを開催し、講師による実績の紹介や取り組みへの後押しを、また参加者アンケートから、問題の抽出や傾向把握、人材発掘やネットワークづくりも可能です。加えて、県や市の広報誌への掲載、マスコミで紹介されるなど、宣伝効果も見込まれます。

GROUP C7 特定非営利活動法人 井戸端わもん

井戸端わもんを食卓へ。聞き合う文化を地域社会にプレゼント



目標は、話を聞く文化を高知で育みたい。話を最後まで聞く。聞きながら人を責めない。ジャッジしない。良いとか悪いとか、比べない。寄り掛からない。何とかしてあげようというアドバイスをやめて、その方の可能性を信じて最後まで聞きませんか、という取り組みをしています。気付いたことは、一番大事なものは人のつながり。チラシを多く配るより、まちづくりファンドでの出会いが非常に役立ちました。今回は、聞き方教室等で話を聞き合う文化づくりと、音楽を通じて音の響きでつながろうという提案をします。今までのまちづくりファンド助成団体等ともつながりを持ち、お金をかけずにできることも考えたい。

GROUP C8 特定非営利活動法人 要約筆記 高知・やまもも

要約筆記でバリアフリーのまちへ



聴覚障害者に、その場の音声をその場で文字にして伝える活動をしています。コミュニケーション手段としては、補聴器や人工内耳の装着、手話が一般的ですが、実際には要約筆記を含む文字による割合が、手話に比べ1.5倍と年々増えていて、私たちの派遣数も28年度には例年の約2倍になっています。対象者の人数にかかわらず、聴覚障害者に対しての派遣につながったからです。聞こえないことでの孤立化・差別と受け取れる状況・要約筆記を敷居が高くて使えない・障害を、知らない方の言動によって傷つけられている等々の改善のためや聴覚障害者の自立のためにも広報活動が重要です。

GROUP C9 シアターTACOGURA (シアターたこぐら)

アート×地域。キャンプ・防災減災プログラム



アート団体が地域の課題と向き合い、高知をもっと元気にできないかと考え活動しています。目標は、演劇的減災プログラムの完成。1年目は、地域の信頼を獲得するための活動と地域の魅力アップを手伝い、2年目の今年、防災キャンプと防災プログラムのブラッシュアップとして、大学や地域の方と連携を強化・キャンプやクイズの充実・保護者を巻き込む・子どもたちの運営能力向上を目指し、防災キャンプでは、遊びの中から工夫をする力、仲間と生き抜く力を育て、いざというときのストレス軽減を願っています。3年目は完成を目指します。子どものエネルギーが大人を動かすと信じて、これからも高知の防災のために提案をしたい。



# 公開審査を終えて

運営委員長 増田 和剛

公開審査の大きな目的としては、1つでも多くの団体が事業を展開することにより元気な高知のまちにしていこうとあります。私たち運営委員は、採択をする上で、個々の団体の活動について判断をしているわけではなく、その活動の公益性、広がりという点に注目し判断しています。まちづくりという定義は、幅広く、答えに迷います。地域のどれぐらいの方が認知しているか、浸透しているか、つまり公益性という点がまず大前提にあつてスタートしていくと言えるでしょう。

上記でも書いたように「団体自体が成長するため」の事業では、ファンドの対象にはなりません。「事業をすることで地域が活性化する」というポイントに重きを置いて、採択された団体については、再度計画を見つめ直し、活動を始めていただきたいと思います。

助成された団体は、助成終了後のことも想定しながら計画を進めていかなければ、せっかく良い活動であつてもその後の継続が困難になってしまいます。また、地域住民の力だけでは解決の難しい問題に対しても、行政との連携も重要なこととなります。

広報としては、具体的な取り組みによる「見える化」をすることも認知度を上げる1つの方法です。計画を発信するだけではなかなか人には伝わらないものです。具体的な取り組みがあり、そのことが相手に伝わることで、認知度を上げることにつながっていきます。日ごろの活動を具体的に見せる方法として、ペーパーであつても、インターネット上であつても、具体的な部分として必要なツールです。

また、活動が自己満足で終わらないためには、様々な場所や場面での連携をしていただきたい。多様な視点を持つことで、自分たちの活動がまた違って見えるケースもあります。固定観念にとらわれず、新たな切り口で活動し、展開していくことが大事です。

このファンドは15年目のスタートを切り、まちづくりファンド自体も育てていかないとけません。そのためには、団体の皆さんとまちづくりファンドは、地域とその団体など多様な形での連携がこれからの重要な課題です。

## ● 運営委員のコメント ●



運営委員長  
増田 和剛  
(高知中・高等学校教諭)

これまでたくさんの団体がファンドを巣立っていきました。しかし、このファンドにも限界があります。この限界を超えるためにも、これまでの助成団体がひとつつになり、高知のまちづくりのスタイルとして広く市民に還元する必要性と、ファンドのあるべき姿が見えてきた感じがします。



副運営委員長  
堀 洋子  
(社団法人高知県建築士会)

今回まちづくり活動の点と点が結び、面的な活動に広がる応募が有りました。市内で活発に防災活動をされている下知地区と学生団体、アートで地域活動をされている団体が結びつき、広がりを感じます。防災活動を通じたまちづくりの成果だと思います。又、まちづくりファンド15回目に見る嬉しい出来事です。



運営委員  
石川 貴洋  
(認定NPO法人環境の杜こうち)

今年はよく練られた提案揃いででした。不採択の2つも、目的の明確さや活動の具体性に優れ、意義ある提案と思いましたが、問題は予算の配分や用途の必要性の説得力だったかと。予定のモノが買えない中でも工夫して活動を前に進めることで、逆にその答えが見えてくるのでは。祈ご健闘。



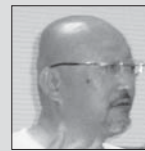
運営委員  
片岡 照敏  
(社会福祉法人てくとこ会  
自立訓練施設てくとこせと)

今回で二度目の公開審査会を経験しました。今回も高知市のまちづくりに熱い想いをたぎらせている多くの団体の方々にお会いでき、たくさんの元気と情熱をいただきました。今回惜しくも選考に漏れてしまった二団体の皆様には、不屈のネクストチャレンジを楽しみにしています。



運営委員  
坂本 萌  
(高知大学人文社会科学部)

私は今年度から初めてこのまちづくりファンドに参加させていただきました。そこで皆さんの素晴らしい活動はもちろんです、人と人との繋がりが目の前で出ていくことにすごく刺激を受けました。この活動を通し、皆さんの事業と共に私自身も、大好きな高知県のためにより成長して行きたいと思えます。



運営委員  
四宮 成晴  
(四宮計画事務所)

公開審査会、いつものことながら緊張を強いられる一時です。応募者のオモイを心で受けとめ、自分の思うまちづくりのあり方と照らし合わせます。今回は特に熟考する場面が多く、多くの勉強をさせていただきました。



運営委員  
三谷 英子  
(学校法人三谷学園  
RKC調理製菓専門学校)

まさに緊張と感動の2日間でした。動けば動くほど、疑問が生じ、壁にぶつかり、打開策に頭を悩ます。そんな皆さんの日々の活動に思いを馳せながら、発表を聴かせていただきました。まちファンをきっかけに、さらに活動の輪が広がり、ネットワークが築かれ、あたたかい地域社会がつくられる、それを実証できる場だと思います。



運営委員  
宮地 貴嗣  
(ラ・ヴィータ  
宮地電機株式会社)

今回は非常に難しい審査でした。高知市まちづくりファンドは、市民の皆様の税金を集めたお金から助成しています。今回承認されなかった団体の皆様は、疑問もあるかもしれませんが、全ての市民に対して、自分たちの払う税金が使われるという納得ができる資料作成とプレゼンを今後お願いしたいです。



運営委員  
山中 雅子  
(NPO法人アテラノ旭)

公開審査会お疲れさまでした。色々の団体の熱い思いを聞かせていただきましたが、この活動や取り組みが「まちづくり」なのか考え悩みながらの審査でした。運営委員になってまだ2年目で私もまだまだ勉強不足ですが、諸先輩に学びながらファンドに挑戦した団体の方々の活躍に注目したいと思います。

2017年7月22日(土)開催の「公益信託 高知市まちづくりファンド最終発表会」には、応募団体・一般を合わせて約22名が参加しました。



## 1 プレゼンテーション

助成先団体が事業の報告を3分間にまとめて発表。各事業内容について、良いところ、質問、提案などを付箋に記入。



## 2 意見交流

運営委員や参加者からの感想、または質疑に対し、助成先団体が応答。

## A 学生まちづくりコース

### GROUP A1 Kochi Leaders Program 実行委員会

#### 高知県の未来作る、地域防災リーダー育成プログラム



私たちは「よりよい地域は、自分たちの手で」というビジョンを掲げ、高知の若者の問題意識を変革し、防災を軸に地域を担える人材を輩出することを目的に活動を行いました。東北合宿と高知研修で防災の重要性や知識を学び、実際に学んだことから、

キックオフミーティングや企画ミーティングを行いました。自発性や能動的な学びを促すこと、さまざまな立場の方から防災知識を得ることを基本において、リーダーシップ、課題設定力、行動力、防災知識を見ていただきたいと考えて、活動を行いました。

#### Voice...

- 子どもたちの防災への意識を高めようという活動が素晴らしい
- 実際に行ってみる、話を聞いてみる。行動力が素晴らしい
- 刺激を受けた。「高知のために」という気持ちがいい

### GROUP B2 長宗我部ファンクラブ

#### 浦戸城を中心とした浦戸・長浜地域の魅力発信事業



勉強会を開催、チラシを作製してタクシー会社等に配布しています。チラシの工夫点は「浦戸城跡は何もない」との意見に反論できる内容掲載と龍馬・幕末・長宗我部時代の繋がりを意識し、加えて長浜・浦戸地域の長宗我部関連史跡が掲載されて

いるGoogleマップのQRコードを載せ、知名度向上に繋がりました。勉強会は龍馬記念館関係者の参加もあり、理解を深めてくださいました。課題は、イベント参加者の集め方と活動できる会員の確保、定着。今年度から会合日程に土・日も入れ、座学以外に現地の史跡や博物館の企画展の見学等工夫をしたい。

#### Voice...

- 持ち帰り可のチラシをもらって、活動内容に興味が出てきた
- 昨年の問題点から早急に対策を考え行動されている
- 浦戸城に興味がある人は点在していると思うので、引き続き活動して欲しい

## B まちづくりはじめの一步コース

### GROUP B1 下知愛のふるさと農園

#### 下地地区有志による五台山での市民農園づくり



1年前に五台山の荒れた農地を借りて、早朝に山へ登り、開拓・開墾して野菜を作りました。冬季は避難訓練も兼ねています。湧水対策では、週2回ペットボトルに水を入れて持って上がりました。他団体や町内から見学や参加者があり、作物を紹介したり

り話をして感動しました。また浸水の経験を地域の人に聞いて津波を想定し、危険箇所やどう逃げるのかを絵を描きお知らせしました。雨水をためて、濾過して飲み水に代えたり、購入した資材を担いで倉庫を造りました。収穫後には、訓練を兼ねた炊き出しや、地域のメンバーとお誕生会を開くなど交流も図っています。

#### Voice...

- 実際の被害を想定されていて、身に付く訓練だと感じた
- 朝早くからの努力に頭が下がる。水不足は大変だったろう
- 津波を想定した作業は工夫が沢山必要だっただろうし、地域の人の参加も良かった

### GROUP B3 国際ジョン万大河ドラマ化推進會

#### ジョン万次郎の功績を高知市民に浸透させる運動



開成館跡、九反田公園の大規模改修整備につながるための事業として、ほぼ毎月役員会と関連会議を行い、ジョン万次郎さんの催しには、団体もしくは個人として参加して、情報収集をしています。ラジオ、テレビ番組の過去のものを含め、皆でできるだけ試聴してい

ます。6月にはジョン万関係の新資料が出たので、これに注目しています。中間発表会とこの会で指摘された部分をもとに、活動していきたいと思っています。

#### Voice...

- 類似の他団体や地元の九反田地区を巻き込んでどうか
- 小さな1歩に見えても前には進んでいると思うので、自信を持って頑張ってください!
- 他団体との結びつきが大切。今ブームが来つつあるようにも思う。皆で考えよう!

# C まちづくり一歩前へコース

## GROUP C1 高知駅北サイト「栄える」TOWN実行委員会

### 新旧が融合し、元気に彩り「栄える」まちづくり



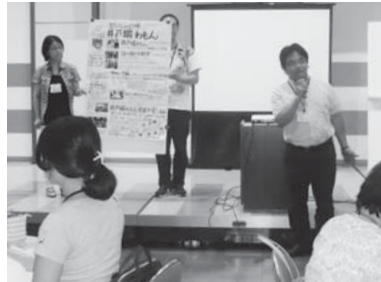
お月見やクリスマスのイベントは、多彩な出店から皆が楽しめる内容となりました。また協賛のお願い、100円ショップで買える防災グッズの紹介、フリーマーケットも行い、重要性を感じています。各イベントの開催では、多くの人のかかわりが生まれ、ファミリーが楽しめる工夫もあり、親子3世代プロジェクトの効果が出ています。無理なく続けることが大切で、継続することで認知度も上がり、存在意義も高まります。誰もが年を取っても安心して幸せを感じ、育ってきたまちが好きになる地域づくり、まちづくりへと目標ができました。

#### Voice…

- 楽しそうなイベント満載で、とても行ってみたいになった
- 協賛を多数得て活動基盤をしっかりと作っているのは素晴らしい
- 地域をはじめ、様々な人・組織を取り込んでいく工夫がされている
- 多くの人達の集えるまちづくりを忘れないで欲しい

## GROUP C2 特定非営利活動法人 井戸端わもん

### まちのしゃべり場「こころの温泉・井戸端わもん」



「話を最後まで聞く」「相手を責めずに、自分も責めずに聞きましょう」「寄り掛からず聞きましょう。話しましょう」をスローガンに全国各地で小さなお茶会等を行っています。今回の助成で20回以上の開催と「話

の聞き方教室」を開催、上町と下知地域では定期開催も決まり、地球33番地町内会でワイワイ楽しみながら夏祭りのお手伝いをします。また、井戸端わもん全国大会を6月に高知で行い、全国で活動している約40人が集まり交流しました。来年は新潟県で行い、続けて高知大会も開催予定です。こうした幅広い活動ができたことを心から感謝します。

#### Voice…

- 交流の輪が広がっているのは素晴らしい
- 当初の予定以上の成果をあげられ、これからが楽しみ
- 高齢者の居場所がなかなか見当たらないまちなか。
- “しゃべり場”を広がってほしい

## GROUP C3 大津子ども会連合会

### 若者たちの活動を通して繋ぐ地域の輪



子ども会本来の姿である「子どもを中心に子ども自身からお年寄りまで、皆が何かできるのかを話し合い行動していく」組織になりました。われわれ若い世代が、活動計画を主に進めて、少しご年配の方々に活動

をより豊かにしていくための研修やフォーラム等の計画をお願いします。今後も地域の方、保護者の方、先生方、皆を巻き込みながら、子どもたちを中心に地域を1つにつなげ、活動を続けていきたい。助成が終わり、大きい活動は難しくなりますが、小さなことからコツコツ続けていきたい。応援よろしく申し上げます。

#### Voice…

- 幅広い年齢層が協力しあい、子ども達が楽しめる企画をされていて素晴らしい。お手本にしたい
- 理想的な活動で非常に参考になった。3年間お疲れ様でした
- ファンドが終わっても活動内容を縮小しないで欲しい

## GROUP C5 高知地域猫の会

### 人と猫が共生できる街づくり～地域猫活動～



第1回セミナーの反響が大きく、報道の効果もあり、2年目に予定していた地域での活動を前倒しスタートしました。行政、地域、ボランティアの三者協働で取り組む活動ですが、主体は地域住民です。が、誤解も多く、継続した啓発が必要です。今年度は2地区で開始、1地区は不妊手術を行いました。また少しずつ手術の寄付も集まっています。費用は1匹あたり約3万円(行政から1万円助成、約2万円が自己負担)。2期目の目標は地域活動の強化、モデル地区で実績を積み、行政にはモデル地区制度の導入とそこでの手術無料化を要望していきたい。

#### Voice…

- 2期・3期と活動が発展していく計画で素晴らしい
- 概念を高知に紹介したという社会的インパクトが良い
- 猫好きとしては本当に応援、携わらせていただきたい
- 地域には猫の問題がたくさんある。ボランティアだけでなく、行政ももっと関わらなければ…



アート×地域。まつり・キャンプ・減災プログラム



「アート×地域。まつり・キャンプ・減災プログラム」を3年間で追います。今年度は地域力の再組成と劇団・アートゾーンの認知、信頼の醸成を目的としています。今後は防災キャンプ等を通して地域課題に取り組む団体としての認知を上げていきたい。定期的に地域の人たちと繋がることで、地域ならではのエピソードも踏まえた面白いイベントになりつつあります。何より身近な仲間たちがたいへん協力的になり、ネットワークもできています。私たちは地域住民であり、仲間を増やしながら頑張りたいと思っています。

定期的な地域の人たちと繋がることで、地域ならではのエピソードも踏まえた面白いイベントになりつつあります。何より身近な仲間たちがたいへん協力的になり、ネットワークもできています。私たちは地域住民であり、仲間を増やしながら頑張りたいと思っています。

Voice...

- 文化活動団体の地域活動の形への変化、他に例の無い活動でわくわくする
- 地域との繋がりが強くなっていったのがすごい
- 夏祭りでもホラー演劇を見てみたい
- 取り組みを知らなかったのが勉強になった。これからの活動も見てみたい

卒業

C「まちづくり一歩前へ」コースは、1事業3回まで助成を受けることができます。

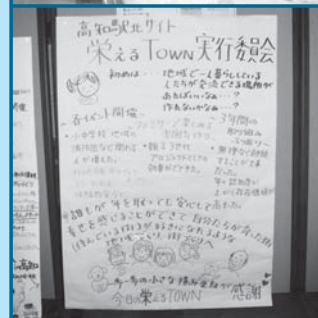
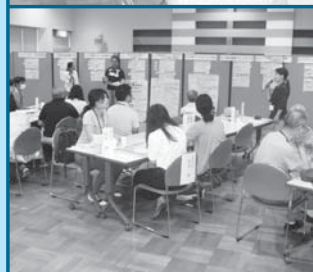
「大津子ども会連合会」「高知駅北サイト「栄える」TOWN実行委員会」は、2014～2016年度と連続助成を受け、ファンドを卒業することになりました。

今後のさらなるご活躍を期待しています。

高知駅北サイト

大津子ども会連合会

「栄える」TOWN実行委員会



最終発表会を終えて

運営委員長 増田 和剛

まちづくりファンドの14年目が終了しました。今日参加された団体の皆さんそれぞれが、高知を良くしていきたいという熱い思いを持って、1年間活動をされてきたことが十分に伝わり、内容の濃い時間でした。また、それぞれの団体の活動内容を知ること、活動の方向性も確認できたのではないのでしょうか。活動の大きな意味は、地域を活性化すること。「誰かがやってくれるだろう」ではなく、「何とかしたい」という思いで、今の皆さんの活動があると思います。この思いの力が、まちづくりの原動力になり「地域の力」へとつながっています。そして、地域内に活動の拠点がある場合、1+1の活動が想定以上にものなることがあります。その一方で、どんなに頑張っても、なかなか広がりがないというケースもあるでしょう。それでも、それぞれが明確なテーマを持って活動することで、啓発となり、関心度を上げる役割を果たしています。活動報告の中にもあったように、この会場でのつながりを大切にしていたかったです。初めは顔見知りから始まり、その出会いによって、活動力へとつながっていく。今後活動メンバーの確保や、知らない人を巻き込んでいく時の手段として、SNSやチラシも今どきの手段ではありますが、直接人と人がつながりを広げ、そのつながりを次にどうやって繋げていくのか。この課題も活動の隠れた部分であると言えます。今後継続するにあたっては、いかに地域と人を巻き込みながら、地域が元気になってくると、現在の活動団体もつと元気になるという相乗効果も期待できます。

最終的な課題として、活動要員の継承という課題も残されています。ここで活動が終わってしまったわかないためには、継承していくことも考えていかなければいけません。活動をやることは簡単です。しかし、活動していくことによって、人は成長します。そして、人が成長することによって、地域も変わっていきます。より良い高知のまちにするためにも、ぜひ今の活動を続けていってください。多くの団体に、「高知を良くする」という思いを持って活動を続けていただこうとを願います。私たち運営委員も、できるだけ多くの団体に活動していただきたいという思いをもって審査に臨んでいます。これからは10年、20年、30年と今の子どもたちが大人になって、自分たちの住む町でまちづくりができるような環境を、今を生きる私たち大人が創っていかれたらと思っています。

# 公益信託「高知市まちづくりファンド」

高知市を住みよいまち、豊かな地域社会にするために行う、市民の自主的な「まちづくり」活動を応援します

## 新設「まちづくりたまごコース」を募集しています。

### ● 助成の対象

身近なまちづくり活動に取り組むにあたって、事前学習会、企画の準備・計画などに対し助成します

### ● 応募資格

高知市内に活動拠点があり、3名以上のグループであること  
そのうち1/3以上が市内在住、または在勤、在学であること

### ● 助成額

1事業あたり上限3万円（年間総額 30万円）

### ● 対象となる経費

- 謝礼、旅費（国内のみ）、会議費、印刷代、通信費、消耗品その他
- 参加者募集のための広報・見学会等の経費

### ● 助成事業対象期間

助成決定を受けた日から2018年2月28日（水）まで

### 応募期間

2017年 2017年  
8月1日(火)～12月25日(月)

### 審査方法

書類審査

### 事前相談 (要予約)

申請に当たっては応募書類を記入の上、必ず事前相談を受けてください

### ● 詳しい内容は下記のお問い合わせ先まで ●

## 「高知市まちづくりファンド」

公益信託「高知市まちづくりファンド」は、「高知市市民と行政のパートナーシップのまちづくり条例」に基づき市民同士の交流やまちづくりの学びの場となることを目的として、高知市を住みよいまち、豊かな地域社会にするための活動に助成します。

また、より多くの市民がまちづくりに参加するきっかけ作りを目的として、第15回となる2017年度から「まちづくりたまごコース」を新設しました。

## ■ 助成コース紹介 ■

### A：学生まちづくりコース

活動の第一歩を踏み出そうとしている、または、活動が定着していない学生団体の活動を支援します。構成員のうち3名以上が18歳以上の学生であること。

**助成金額** 上限5万円

**審査方法** 書類審査で助成先を決定します。助成が決定した団体は、公開審査会で活動内容の紹介をしていただきます。

### C：まちづくり一歩前へコース

市民団体が継続して行うまちづくり活動を支援します。1事業3回まで助成を受けることができます。

**助成金額** 上限30万円

**審査方法** 公開審査会で活動内容の発表をしていただきその場で助成先を決定します。

### B：まちづくりはじめの一歩コース

活動の第一歩を踏み出そうとしている、または、活動が定着していない市民団体の活動を支援します。

**助成金額** 上限5万円

**審査方法** 書類審査で助成先を決定します。助成が決定した団体は、公開審査会で活動内容の紹介をしていただきます。

### D：まちづくり拠点整備コース

まちづくりの活動拠点を整備する事業を支援します。

**助成金額** 上限100万円

**審査方法** 公開審査会で活動内容の発表をしていただきその場で助成先を決定します。

### ● 2017年度(第15回)の予定 ●

**中間発表会** 2018年 1月 21日(日)

**最終発表会** 2018年 7月 21日(土) (予定)

## まちづくりファンドは皆様の まちづくり活動を支援する仕組みです。

まちづくりファンドの創設にあたり、高知市から出捐(しゅつえん)された基金を、毎年取り崩しながら助成しています。少しでも長く、市民のまちづくり活動に活かせられるよう、多くの皆さまのご寄付をお願いいたします。

寄付に関するお問い合わせ・お申し込みは、下記にご連絡ください。

株式会社 四国銀行 お客さまサポート部 信託担当  
TEL.088-871-2308 (直通) 〒780-8605 高知市南はりまや町1丁目1-1

## 高知市市民活動サポートセンター

市民活動の輪を広げようと、1999年4月に高知市が設置した施設です。「認定特定非営利活動法人NPO高知市民会議」が運営を担っており、ボランティアや市民活動に関する様々な相談や情報の提供、活動に必要な機器の利用や会議室の貸し出しにも応じています。仲間を広げたり、活動のお知らせをする掲示板や団体が利用できるメールボックスもあります。活動の参考になる講座等も開催していますので、お気軽にご活用ください。

発行・お問い合わせ先 高知市市民活動サポートセンター

〒780-0862 高知市鷹匠町2丁目1-43 高知市たかじょう庁舎2階  
TEL.088-820-1540 FAX.088-820-1665  
E-mail: info@shiminkaigi.org URL http://www.kochi-saposen.net/